

# TabReach !

～Tableauを組織のスタンダードBIにする方法～

**BIZREACH** 株式会社

株式会社 ビズリーチ  
マーケティングテクノロジー室

西澤 祐介

荒木 和也

**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc



# アジェンダ

- 1部 Dashboard for ALL ~継続的に見られるダッシュボードの構築~
- 2部 tableauユーザーのアクティベート

# 自己紹介 @zwt1n

人材業界tableauユーザー会幹事。Tableau 6<sup>th</sup> Jedi 二つ名は「Data samurai」



 BIZREACH

 キャリトレ

● 2009 大手Sier JOIN  
インフラエンジニア  
データ分析インフラ構築PMO

● 2016 ビズリーチJOIN  
事業環境分析  
アドホック分析

● 2017 キャリトレJOIN  
ユーザー属性分析、広告・メール周りの効果測定  
KPIダッシュボード/モニタリング体制構築  
事業予算策定  
カスタマーサクセス(テックタッチ推進)

DATA  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc



# 株式会社ビズリーチ / BizReach, Inc.

**創業** : 2009年4月

**代表者** : 南 壮一郎

**従業員数** : 約1,449名 (2019年5月現在)

**拠点** : 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / シンガポール

**事業内容** : インターネットを活用したサービス事業

# 次々と社会課題の解決を目指す事業を立ち上げる

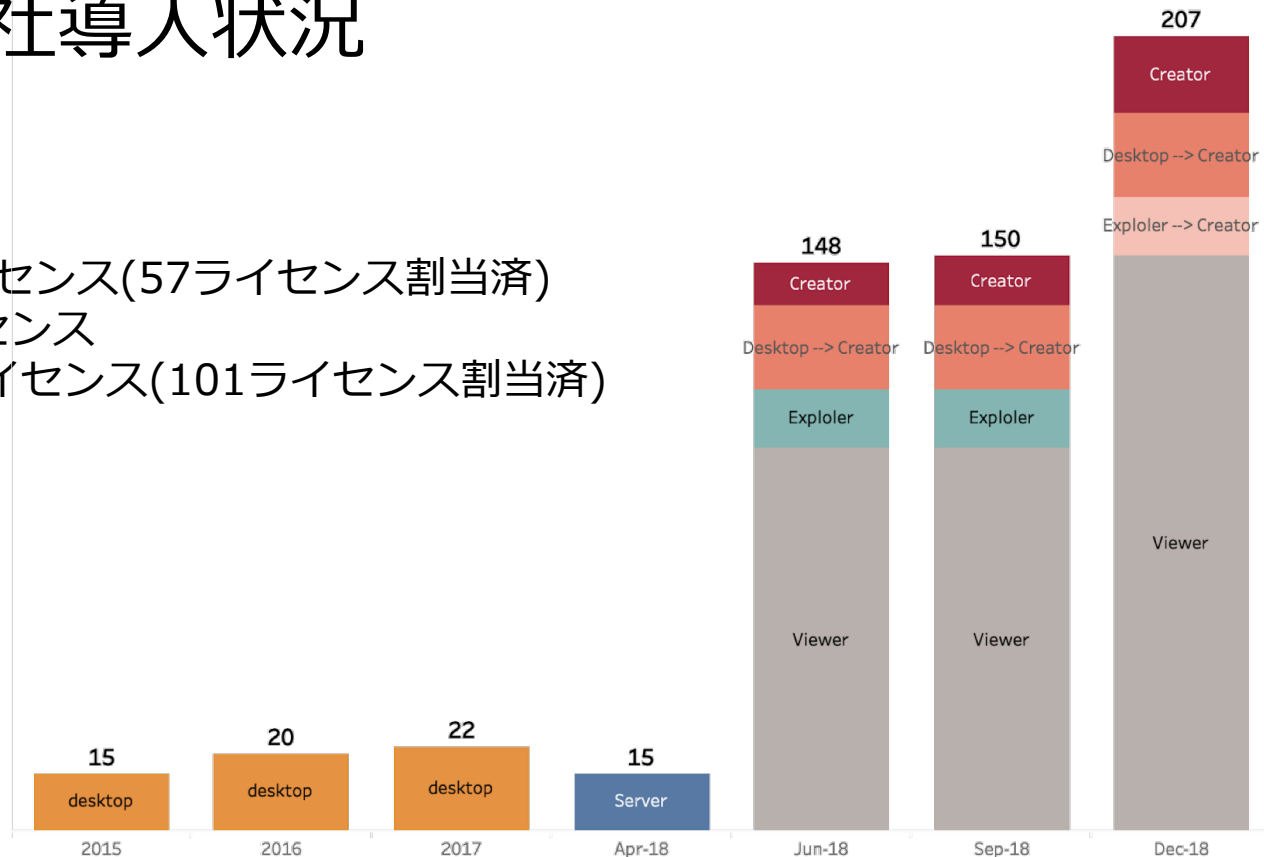
人手不足	即戦力人材 若手社員 全雇用形態 就職・キャリア教育 女性活躍推進 地域活性	      
企業のIT化	人材活用プラットフォーム 戦略人事メディア	 
事業承継	事業承継M&A	

# アジェンダ

- 1部 Dashboard for ALL ~継続的に見られるダッシュボードの構築~
- 2部 tableauユーザーのアクティベート

# Tableau 全社導入状況

Creator 57ライセンス(57ライセンス割当済)  
Explorer 0ライセンス  
Viewer 150ライセンス(101ライセンス割当済)

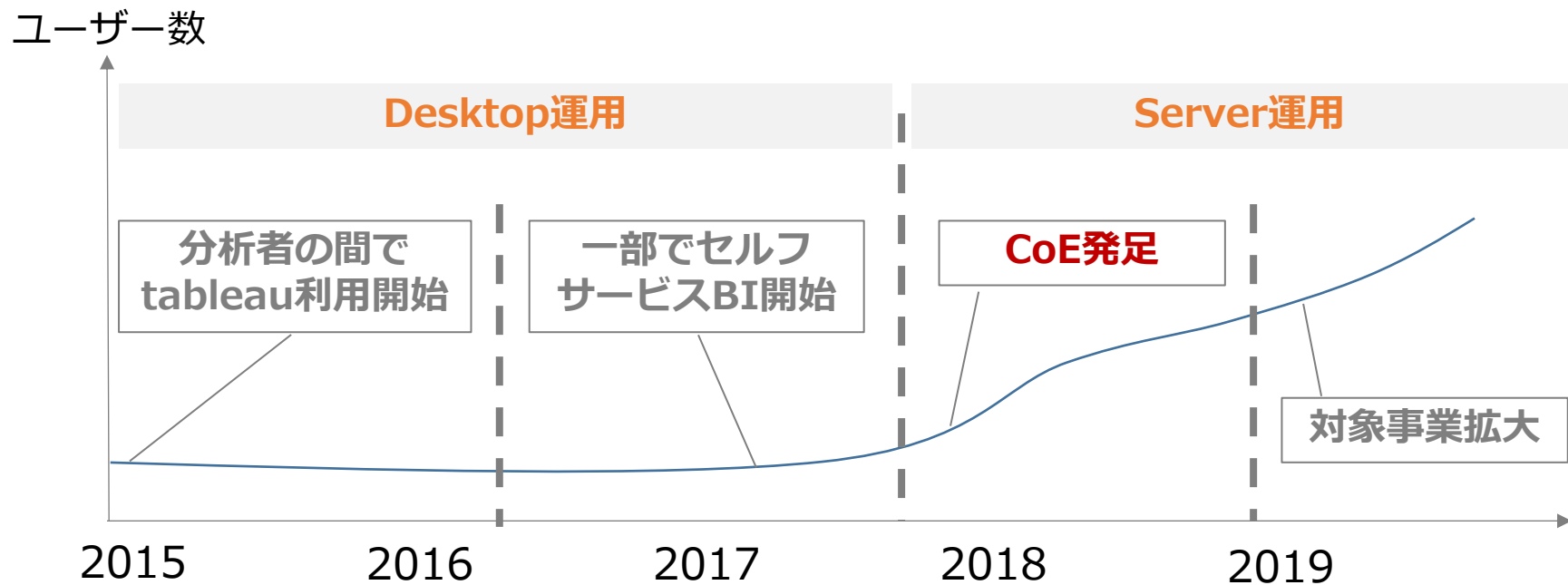


Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

DATA  
DAY OUT



# Tableau History





# Center of Excellence(CoE)とは？

## CoEの概要

由来は1940～50年代にまで遡り、米国カリフォルニア州のスタンフォード大学で当時多くの優秀な学生が東海岸へ流出してしまうことを防ぐため、全米から著名な教授・スタッフを呼寄せ、学究拠点の中心とする施策から来ている。その後、様々な大学や研究機関での施策・拠点として発展、企業においても優秀・有識なリソースを集約し組織運営を向上化・効率化するという形で適用され、ITの分野でも使われるようになった。

## CoEの重要性

複数のプロジェクト/アプリケーション間の整合性担保

標準化・共通化

ベストプラクティスの蓄積と展開・適用

## CoEの不在により発生する問題

部門ごとに使うデータ・使われている用語・運用ルール・データの定義が異なってしまう  
業務のダブリにより非効率的な作業が発生する（+それに気づかない）

成功事例が共有されないので成功までに時間が掛かる（+同じ失敗が繰り返される）

出典 <https://tddj.gosavo.com/Document/Document.aspx?id=48757909&view=>

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

DATA  
DAY OUT



# CoEにはどんな人物が必要か？

チームとして

ビジネス、アナリティクス、エンジニアリング各方面の知識・経験を保有

職種	概要
ビジネスリーダー	組織横断的にアナリティクス・トランスフォーメーションを指揮できる人。
デリバリーマネージャー	データ・ドリブン、アナリティクス・ドリブンのインサイトをエンドユーザーに届ける事ができる人。
アナリティクス・トランスレーター	アナリティクスがビジネスの重要な問題を解決できるようにする人。
データ・アーキテクト	現在と将来のデータの品質を保ち、一貫性を持たせるためのシステムをデザインする人。
ワークフローのインテグレーター	意志決定をサポートするためのツールやソリューションを導入する人
可視化の得意なアナリスト	データを可視化し、レポートとダッシュボードを作る人。
データサイエンティスト	統計的なモデルとアルゴリズムを開発する人
データエンジニア	データを収集し、構造化し、分析する人

BizReach CoE = マーケティングテクノロジー室

# Data for All

データ基盤構築

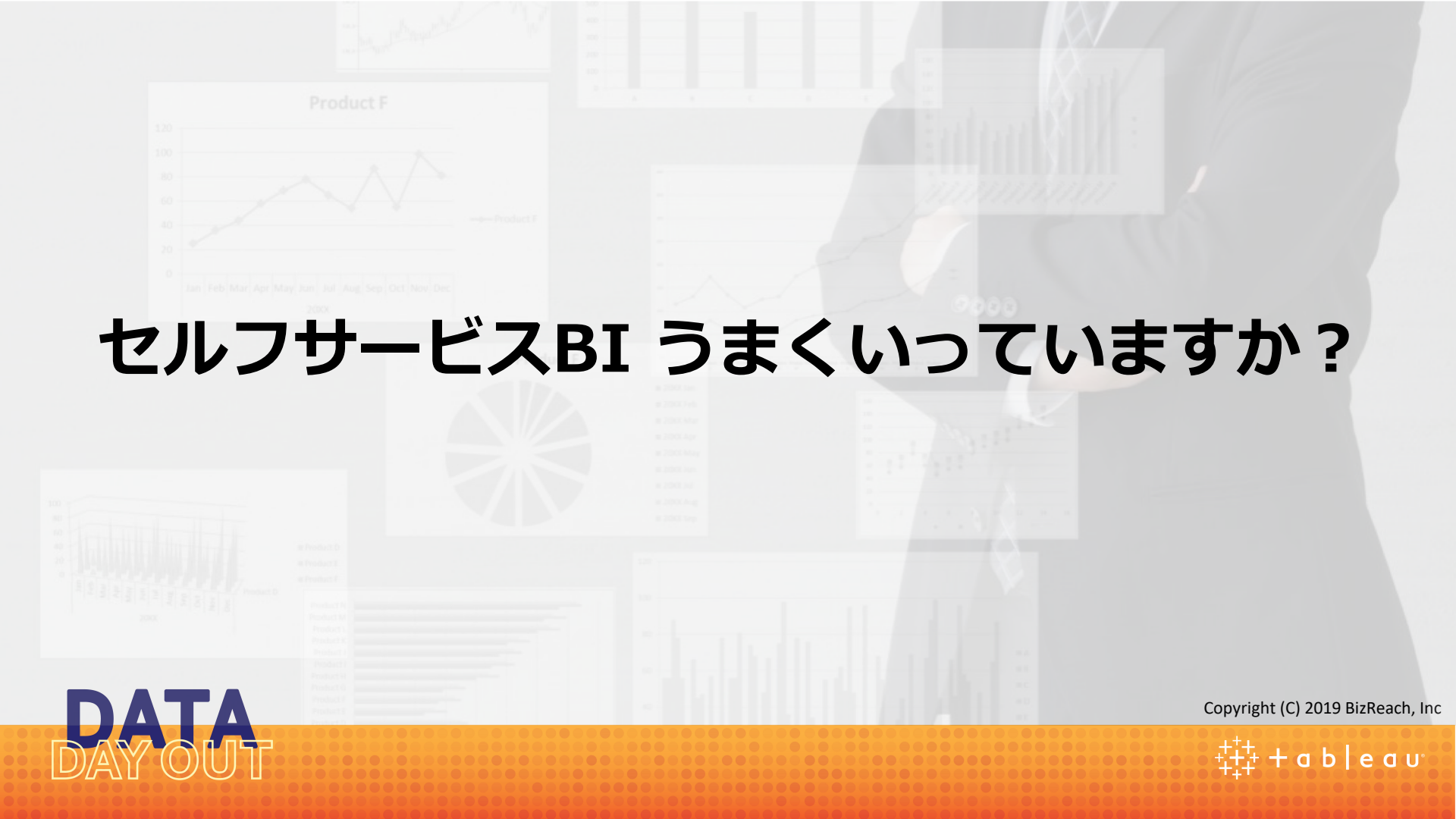
データ分析・可視化支援

AI適用推進

DATA  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc





# セルフサービスBI うまくいっていますか？

**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc



# セルフサービスBIの闇

## 非効率・共通言語不在

同じようなデータ出す

同じ指標だけどそもそも出し方や定義が違うものが乱立

### 包含関係



### 同一指標の亜種



Team A

20代転職実績



Team B

20代転職実績(特定プラン)



Team C

20代転職実績(SQL、集計ミス)

# なぜこんなことが起こるのか

## 間違ったデータの流通

- ・ データソースが違う
- ・ SQLの集計が違う
- ・ Tableauでの集計が違う

## 非効率性・指標の乱立

- ・ コミュニケーションが断裂
- ・ 情報の集約・蓄積ができてない
- ・ チーム・部門横断の視点の欠如

# なぜこんなことが起こるのか

## 間違ったデータの流通

- ・ データソースが違う
- ・ SQLの集計が違う
- ・ Tableauでの集計が違う

## 非効率性・指標の乱立

- ・ コミュニケーションが断裂
- ・ 情報の集約・蓄積ができてない
- ・ チーム・部門横断の視点の欠如

## ユニバーサルBIの推進

データソースの汎用化

ダッシュボードの共通化

# ユニバーサルBIとは

現場の様々なニーズを取り込んだ中規模～大規模なBI環境を提供する

セルフサービスBI

個別最適

限定的

単発

静的

一方通行

ユーザー数 少



ユニバーサルBI

全体最適

汎用的

継続的改善

動的

探索的

ユーザー数 大



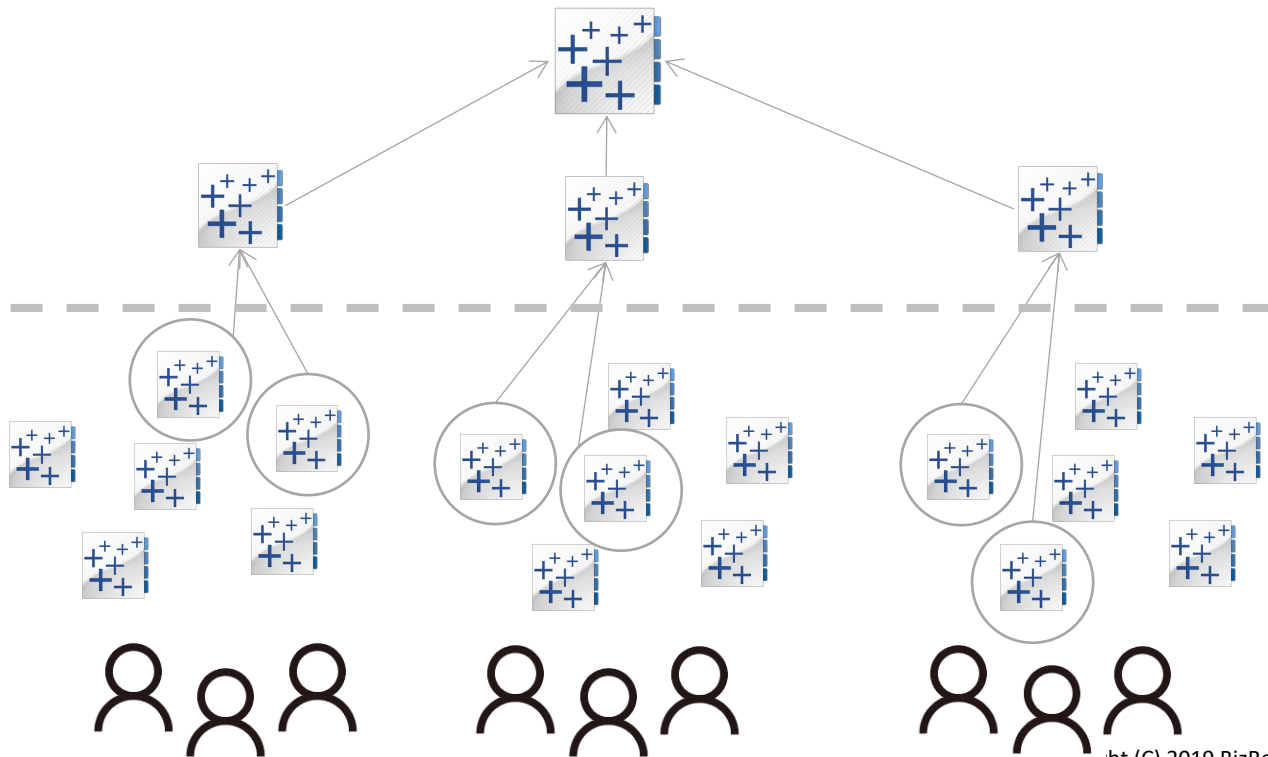
# 誰かがキレイにしなれば汚いまま

ユニバーサルBI

収束

セルフサービスBI

発散



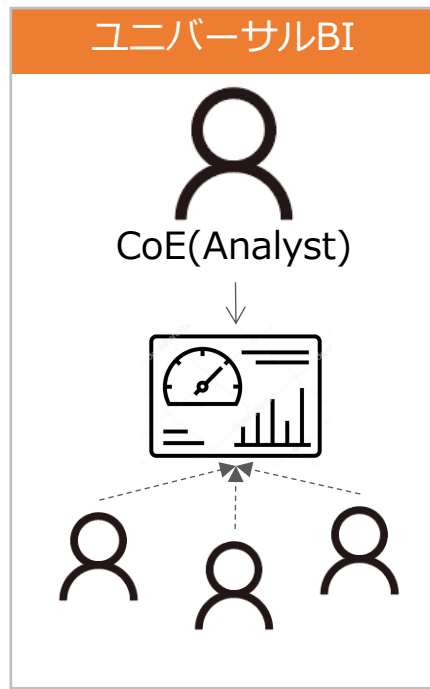
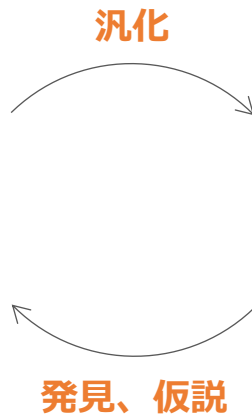
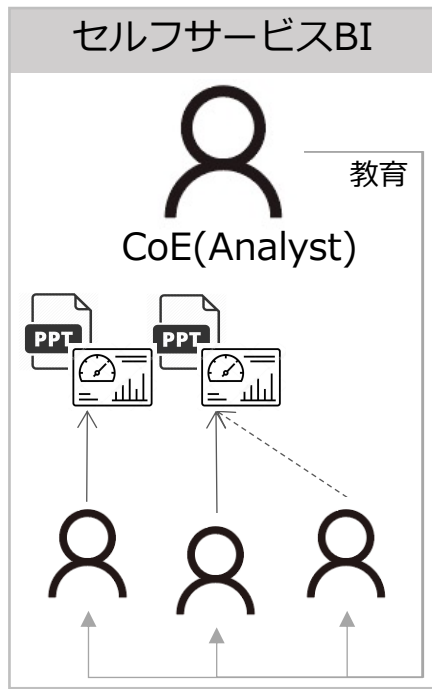
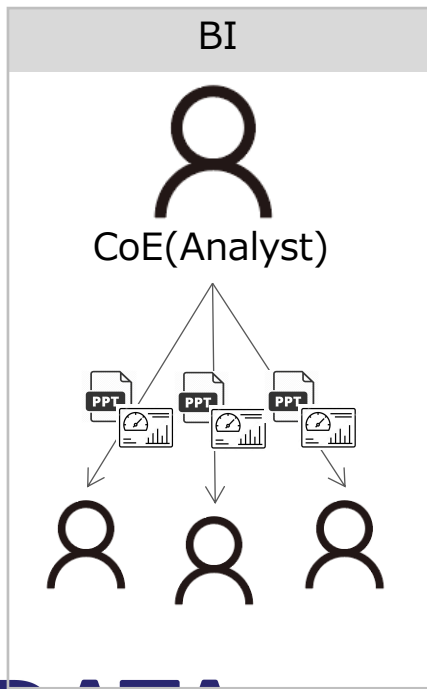
DATA  
DAY OUT

© 2019 BizReach, Inc



# CoEは大変

ユニバーサルBI「も」推進し、利用ユーザーを一気に拡大させる



Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# ユニバーサルBIへの挑戦

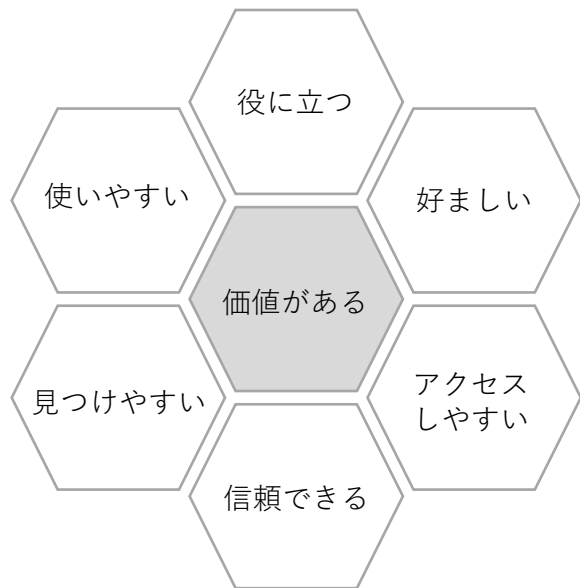
**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

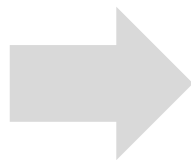


# ユニバーサルBI成功へのポイント ①

AX(Analytics Experience)を最大化し、価値あるダッシュボードを構築する



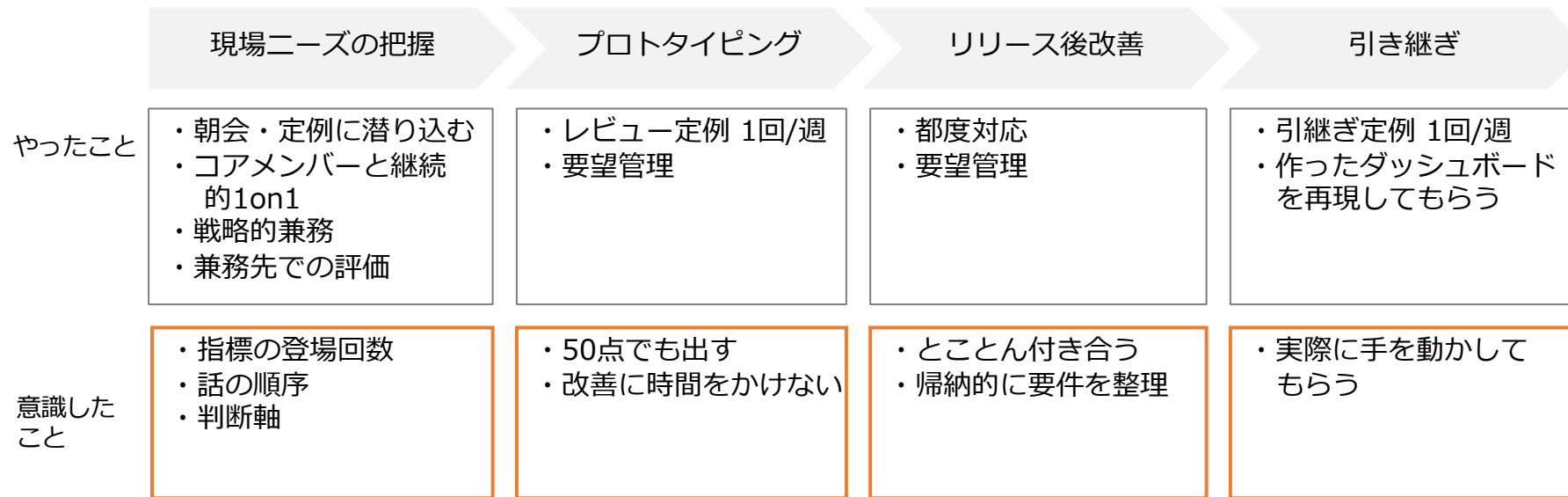
UXハニカム構造



AXハニカム構造

# ユニバーサルBI成功へのポイント ②

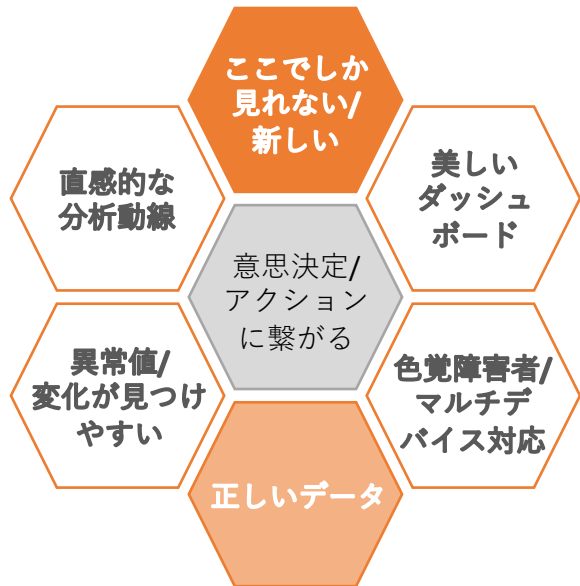
大方針：とことん現場に寄り添う。現場のメンバーとして当事者意識を持つ





# 特に大事なポイント

ユニークネス(代替不可能性)を作ることが特に重要。 ※正しいデータが前提



## Goodの例

異なるデータソースをブレンドしたダッシュボード

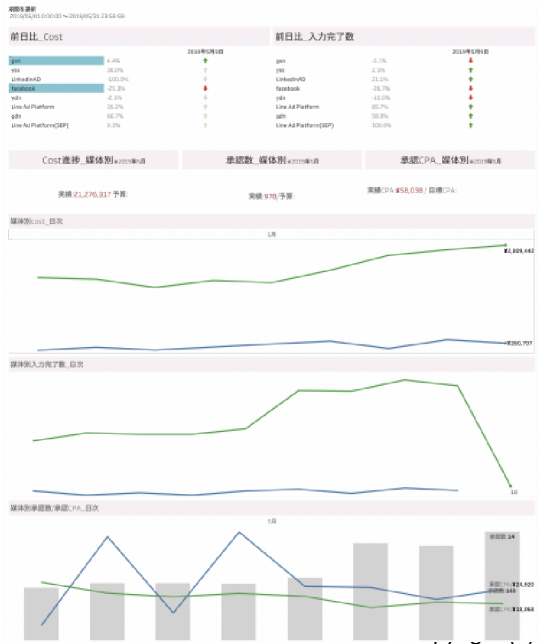
## Badの例

Excelを単にtableau化

# 事例1 ~BIZREACH事業 カスタマーマーケティング部門~

- ・ 朝会で使用している媒体別の広告パフォーマンスレポートを可視化
- ・ Google sheetのレポートをtableau化

Facebook														
期間	広告主	掲載回数			掲載率			CPA			達成率			
		全	入	出	全	入	出	全	入	出	全	入	出	
1	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
2	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
3	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
4	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
5	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
6	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
7	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
8	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
9	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
10	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
11	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
12	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
13	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
14	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
15	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
16	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
17	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
18	100%	100	100	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%





# 事例1 振り返り

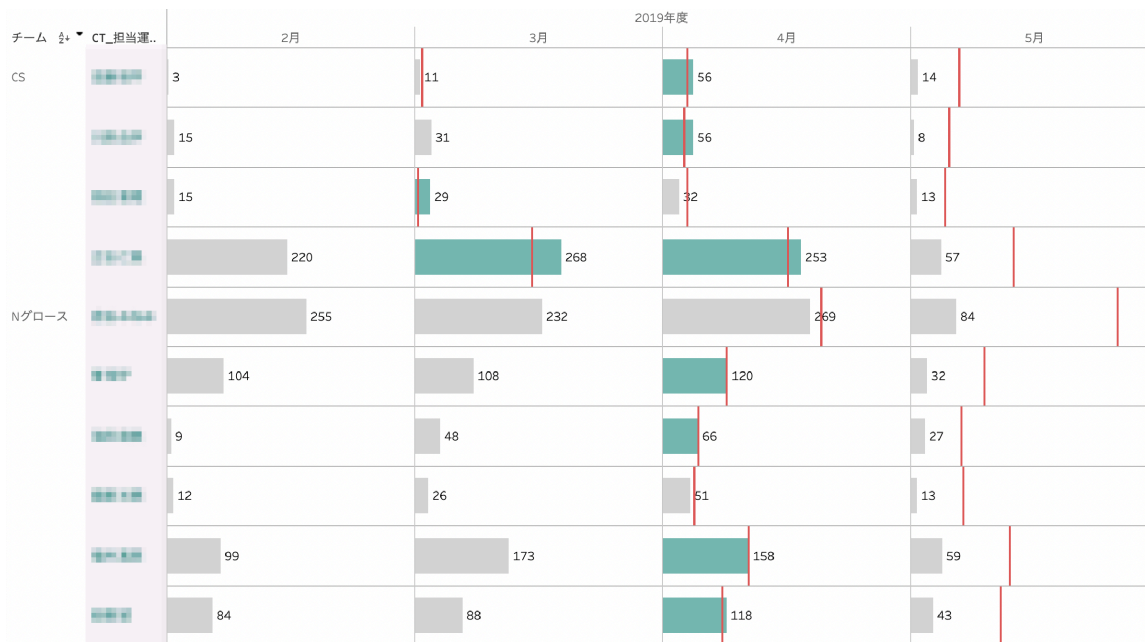
リリースから1ヶ月後。使われないダッシュボードに。

1日あたりの合計表示回数



## 事例2 ～キャリアトレ事業 カスタマーサクセス部門～

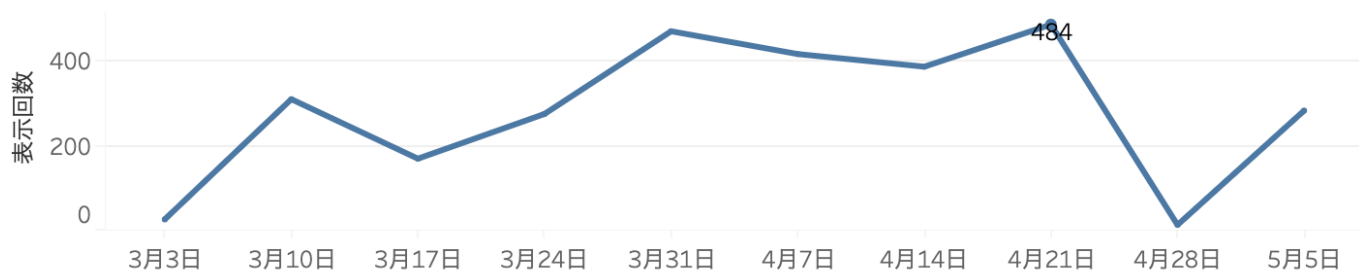
- ・担当毎のKPI目標シート (Excel)と実績値(DWH)を掛け合わせた予実管理
- ・チーム横断のダッシュボード



# 事例2 振り返り

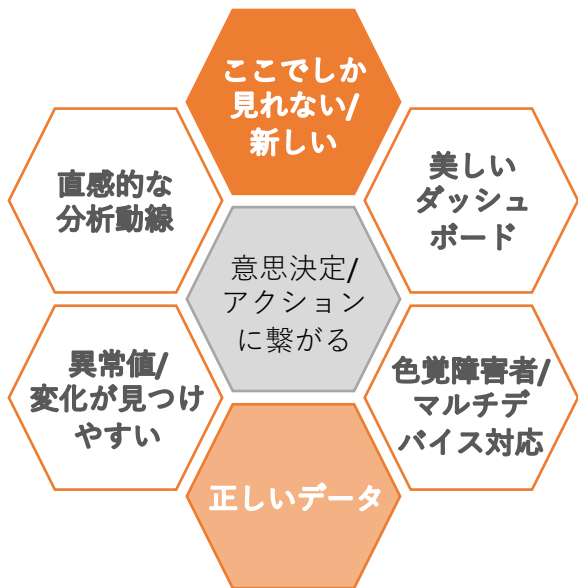
継続的に使われるダッシュボードに！

1日あたりの合計表示回数



# 【再掲】特に大事なポイント

ユニークネス(代替不可能性)を作ることが特に重要。 ※正しいデータが前提

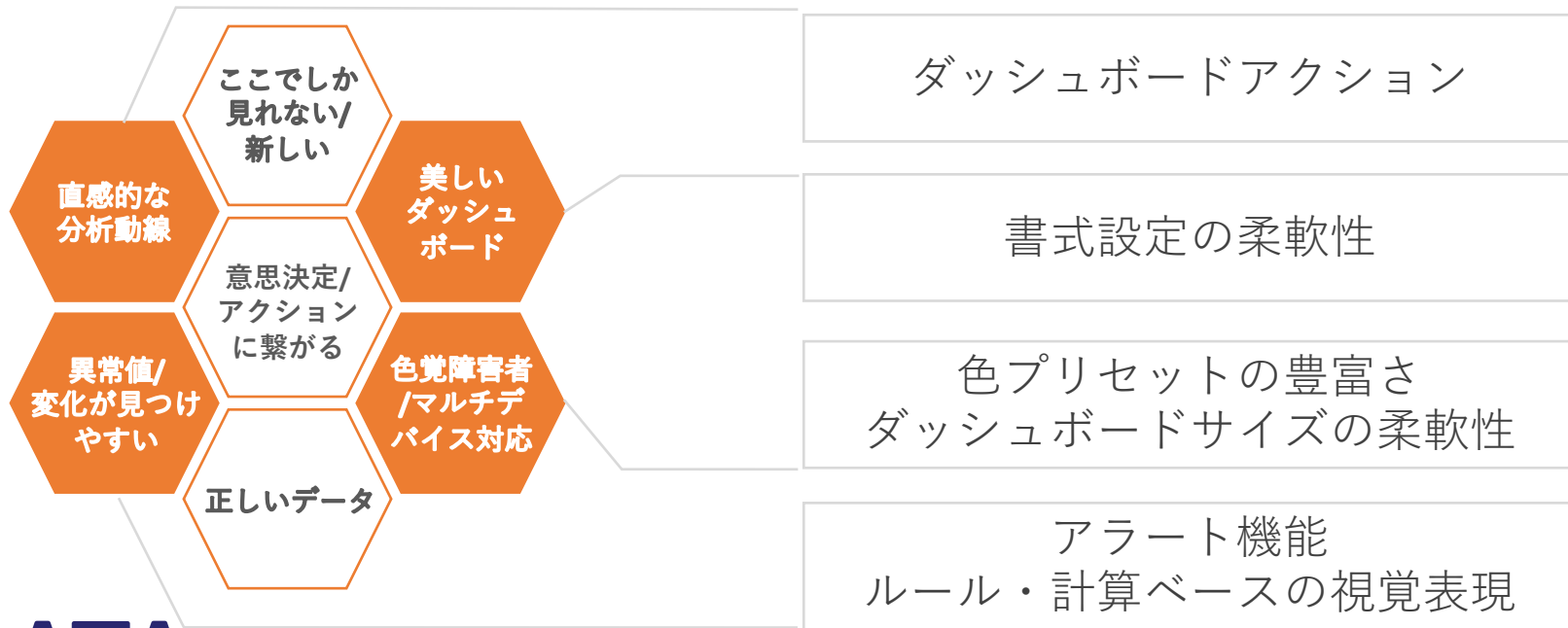


## 事例から見るユニークネスポイント

- 予実管理がDailyでできる
- 組織横断で見れる  
(管理職ニーズの創出)

# ユニバーサルBIを支援するtableauの機能

例えるなら、Tableau = ビュッフェ その他のBIツール = 定食



# 本日の言いたいこと

- Not only 「セルフサービスBI」 but also 「ユニバーサルBI」
- 新しい/ユニーク性のあるダッシュボードを作り、利用者のマインドシェアを奪い取れ
- ユニバーサルBI最強のパートナー。それがTableau。

# アジェンダ

- 1部 Dashboard for ALL ~継続的に見られるダッシュボードの構築~
- 2部 tableauユーザーのアクティベート

# About Me



**荒木 和也**

Kazuya Araki

株式会社ビズリーチ マーケティングテクノロジー室  
8th Tableau Jedi - Trickstar

受託開発 -> パッケージ開発 -> Data Analyst / Data Engineer



@kazuya\_araki\_jp



araki-ka

**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc





# Tableauユーザーアクティベーション

- コミュニティ醸成
- 今後の施策

# 前段の話



# Tableauを有効活用する環境を整備

- 2018年6月
  - サブスクリプションライセンス移行
  - = Tableau Server導入
- 2018年8月
  - Data Warehouse(BigQuery)構築



**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc





**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc



思ったほどTableauユーザーの  
アクティベーションが進まなかった。





**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

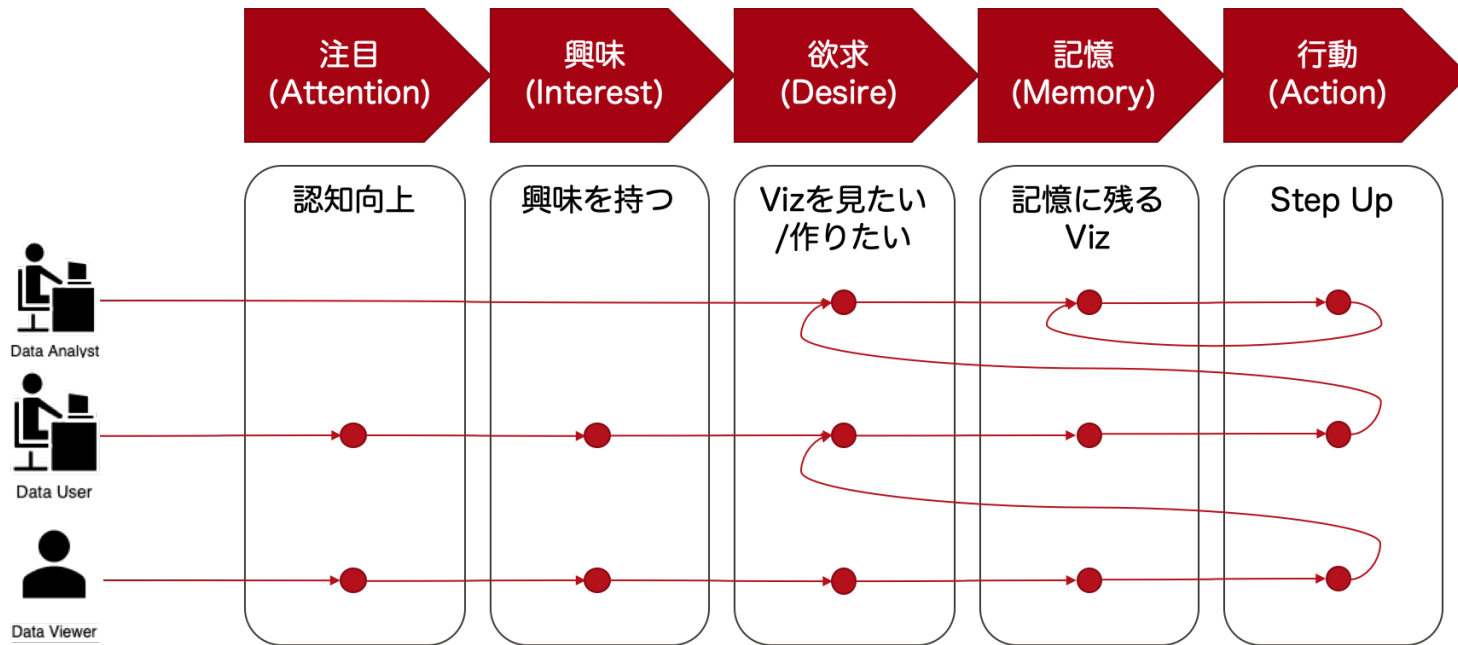


# 原因整理 & 戦略を練る

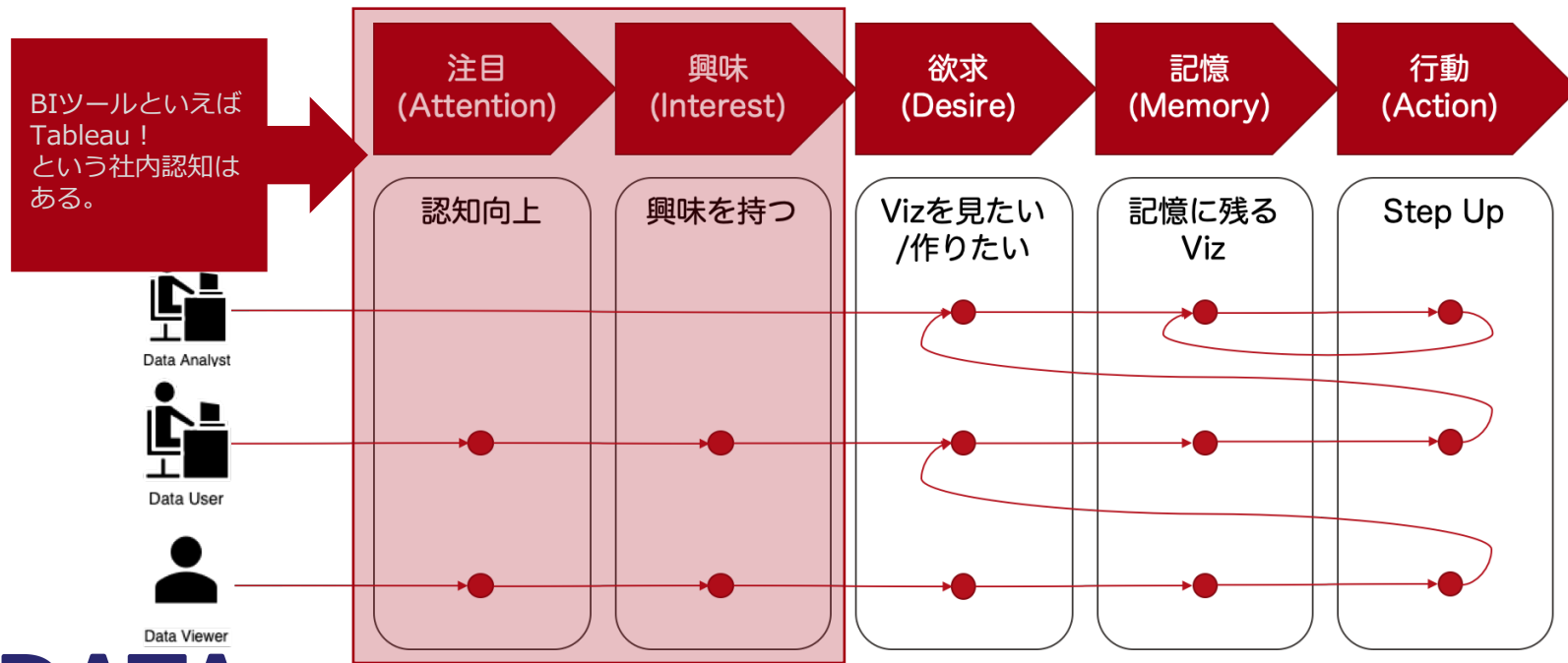




# Strategy : Data AIDMA

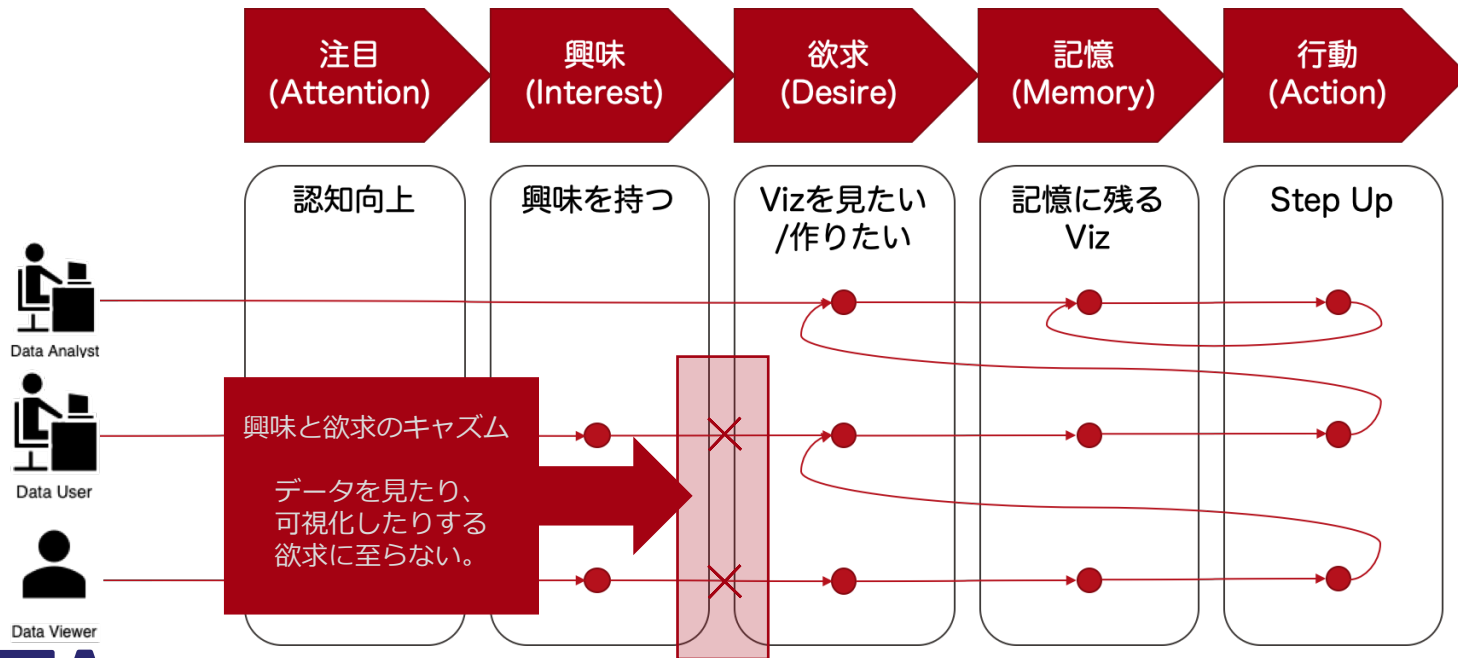


# Tableauの社内認知はある。



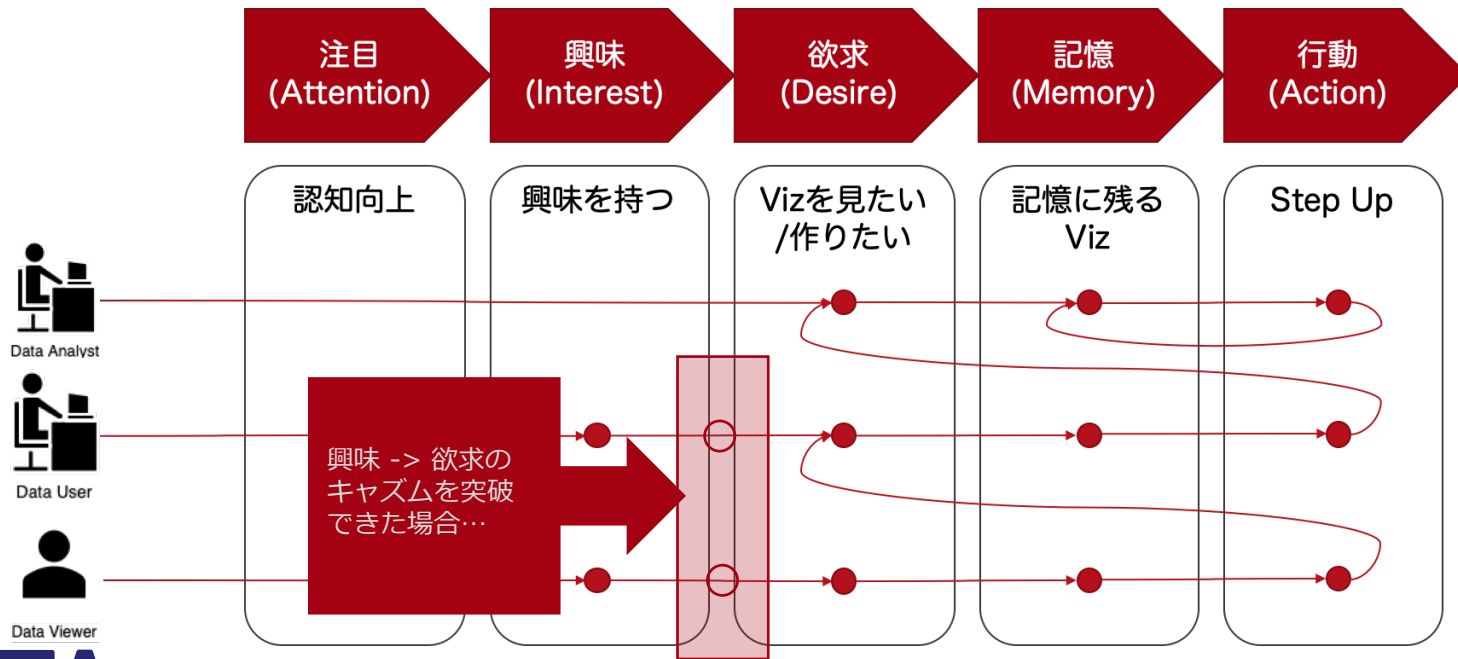
Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# 課題感



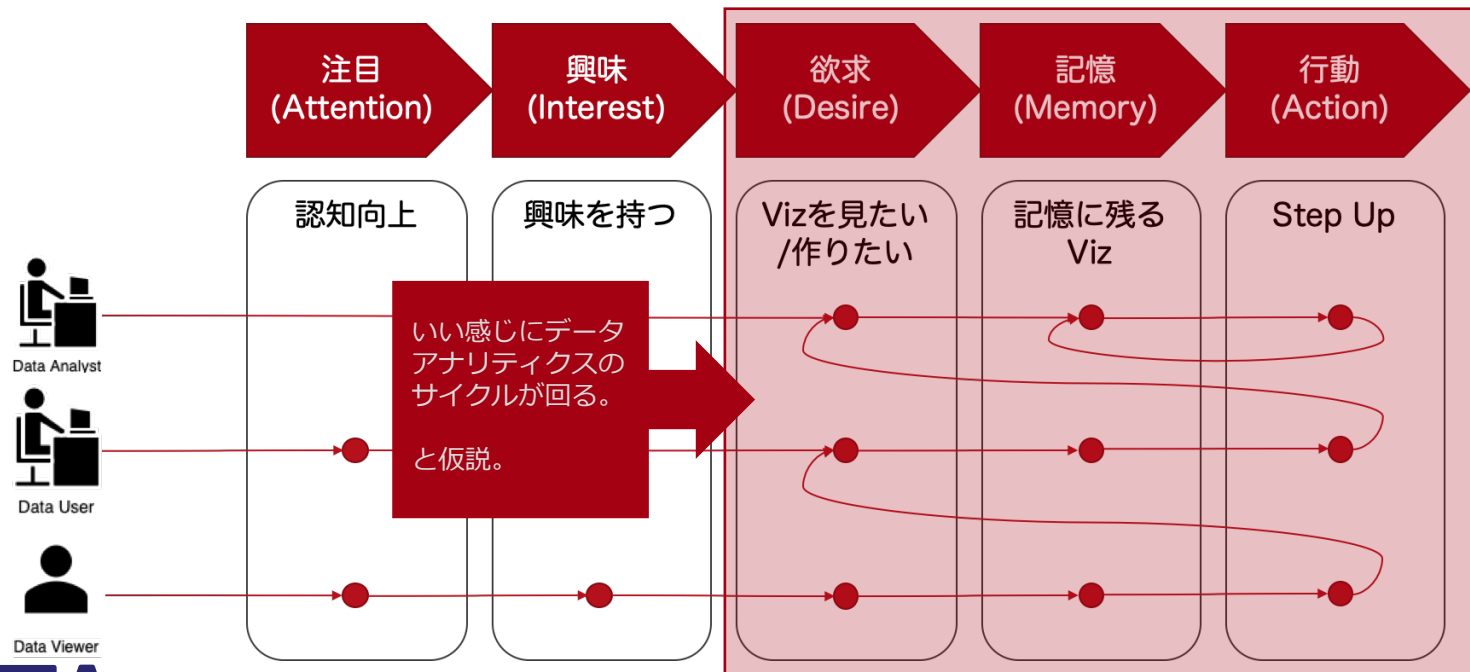
Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# 仮説



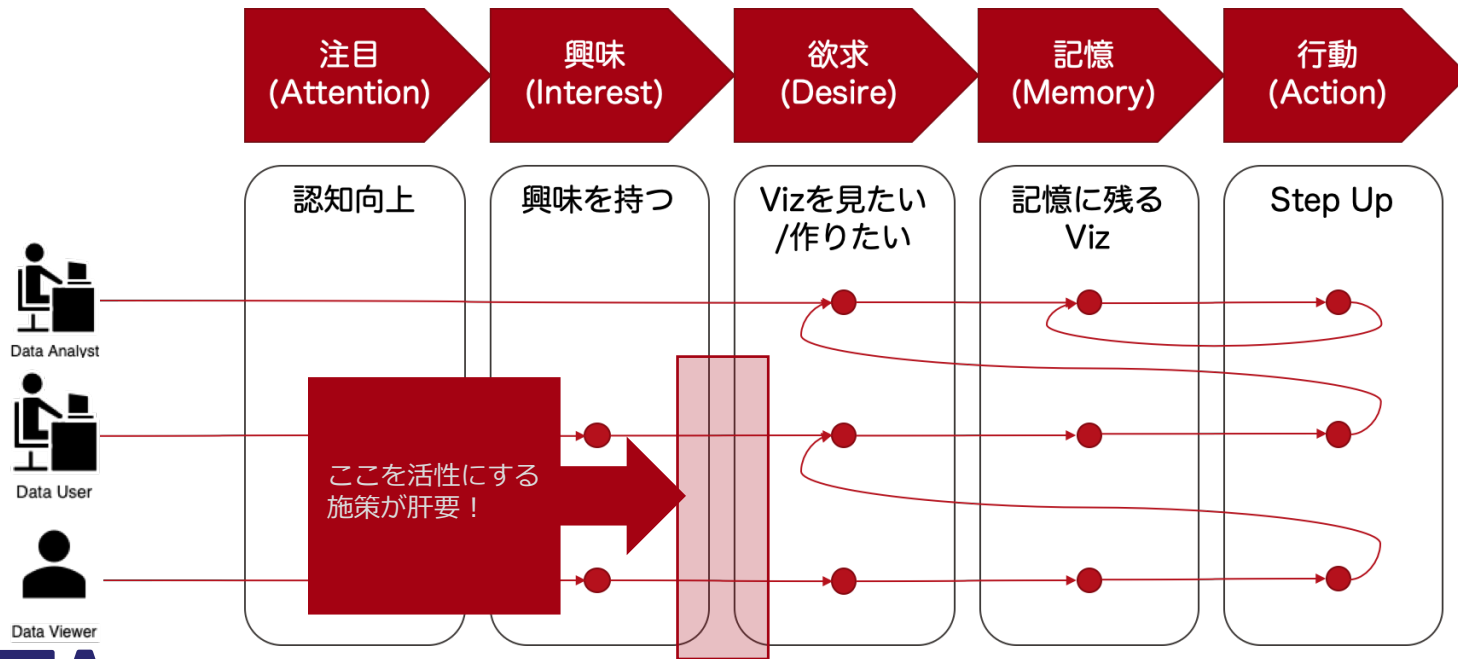
Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# 仮説



Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# Strategy : Data AIDMA



Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# やったこと：コミュニティの醸成

- オンライン
  - Slack
- オフライン
  - 社内User Meetup

# Slack(Publicチャンネル)

The screenshot shows a Slack channel with the following content:

**荒木 和也** 10:58  
@here  
みなさまお久しぶりです。リリース情報のアナウンスでございます。  
@for Creatorライセンスの方々  
Tableau Desktopの最新バージョンがリリースされました。  
本バージョンですが、はっきり言って、 **すこい** です。  
特にすこいのが、PowerPointでエクスポートできるようになりました。  
今まで、画像の切り貼りに対応していた作業が一瞬にできるようになっています。  
生産性に一役を買っている存在になりつつありますね。  
他のすこい機能については下記を参照ください。  
**新機能**  
<https://www.tableau.com/ja-jp/products/new-features/desktop>  
**ダウンロードはこちら**  
<https://www.tableau.com/ja-jp/support/releases/desktop/2019.1>

@for みなさん  
Tableau Serverの最新版もリリースされています。  
こちらは明日にリリース作業を行いますので、来週月曜日には新しい機能を利用することが可能  
(今までは手動バージョンアップで行っていたので、営業日に作業しなければいけませんでしたが)  
んな感じで日々地味に改善して行っていますので、今後ともよろしくお願ひします🙏

**新機能**  
<https://www.tableau.com/ja-jp/products/new-features>  
📁 Tableau Software

**新機能**  
データに聞く、Prep Conductorなど、Tableau プラットフォーム全体に導入されている新機能をご覧ください。

**荒木 和也** 13:41  
@Creatorユーザーのみなさま  
Tableau Desktopの最新バージョン(2019.1.3)がリリースされましたので、バージョンアップをお願いいたします。  
<https://www.tableau.com/ja-jp/support/releases/desktop/2019.1.3>  
と、ここまではいつもの定型案内なのですが、Tableauを広める立場として、ちゃんとアウトプットも出さないといいけないと思い、今回はこんなVizをつくりました。  
このVizを踏まえて、今回は一歩進んだ案内をば。  
| 未インストールの方  
(事情があってインストールしていない方も含めています)  
そもそもDesktopを使っていないのであれば、Creatorライセンスそのものの利用は不要なので、もし不要であれば、私が西澤さんまでお伝えください。  
Creatorライセンスは年10万円とお高いため、コスト削減にご協力ください。  
| バージョン10系の方  
バージョン10系のパフォーマンスと、バージョン2018系以降のパフォーマンスは天と地ほどの差があります。  
体感、3倍(あくまで個人の感想です)。  
ということは、どういうことかというとう、バージョンアップをすると、Tableauの作業は1/3になる、ということです！(あくまで個人の生産性アップのためには是非バージョンアップをお願いします！)  
| バージョン2018系の方  
バージョン2018系の方々にお伝えしたいのは、バージョン2019系になると、以下の機能が利用できますよ！  
<https://www.tableau.com/ja-jp/products/new-features>  
特に、PowerPointへのエクスポートは生産性向上に一役買います。  
今まで、報告資料をPowerPointで作る際は、必要なデータをCSVでダウンロードして、CSVをExcelで開いて集計してグラフを作成して、PowerPointへ貼り付けて。  
といった一連の動作が必要になるのですが、Tableauをうまく活用すれば、上記作業が0になります。  
(ちなみに、上記機能が活用できそうなタスクが私のもとにあるので、成果が出たらこちらのチャンネルにお知らせします)  
| バージョン2019系の方々  
過半数を超えた方々はバージョン2019系でよかったです！  
しかも、データ取得時点で既に最新バージョンの方もちらほらいたのは驚きでした。  
案内は以上となります。  
若干雑な考察でしたが、今後ともよろしくお願ひします🙏 (edited)  
Tableau Desktop Version.pptx

The screenshot shows a Tableau Desktop interface with a bar chart. The chart has a vertical axis labeled 'Sales' and a horizontal axis labeled 'Region'. The bars represent sales data for different regions. The title of the chart is 'Tableau Desktop Version (2019.1.3)'. The interface shows a top navigation bar with '91 Users' and a 'Help' button.

- 最新バージョン機能紹介
- ビジュアルアナリティクスに関する記事、ブログ紹介
- Tableau Tips

情報発信を積極的に行うことで、  
興味関心を持ってもらう。  
(欲求に持っていくための伏線)





**DATA**  
DAY OUT

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc



# 社内User Meetup開催

**BizReach Tableau User Meetup**

Vol.1  
2019/04/04

About BizReach Tableau User Meetup

- 株式会社ビズリーチのTableauユーザーが揃う会です。
- 【集費】助成金ではありません。
- 主目的
  - Tableauユーザー同士がつながり、交流を持つ(= Tableauユーザーの認知の促進、)
  - Tableauに関する情報共有や情報発信をオンラインで行う。
- 不定期開催(だいたい1ヶ月に1回の開催)。

ビジュアル・アナリティクスとは？

ビジュアル・アナリティクスとは私たちの視覚能力を活かして認識を拡大するデータの表現方法です。

記憶する -> 理解する

認識を拡大する -> 記憶する

Art and Science of Visual Analytics

Episode 0: Prologue

8はいくつありますか？

3,14159265358979323846  
26433832795028841971  
69399375105820974944  
59230781640628620899  
86280348253421170679

8はいくつありますか？

3,14159265358979323846  
26433832795028841971  
69399375105820974944  
59230781640628620899  
86280348253421170679

社内User Meetup参加者構成

参加者構成	割合
Creator	64%
Viewer	12%
ライセンスなし	8%
よくわかっていない	16%

# コンテンツ概要

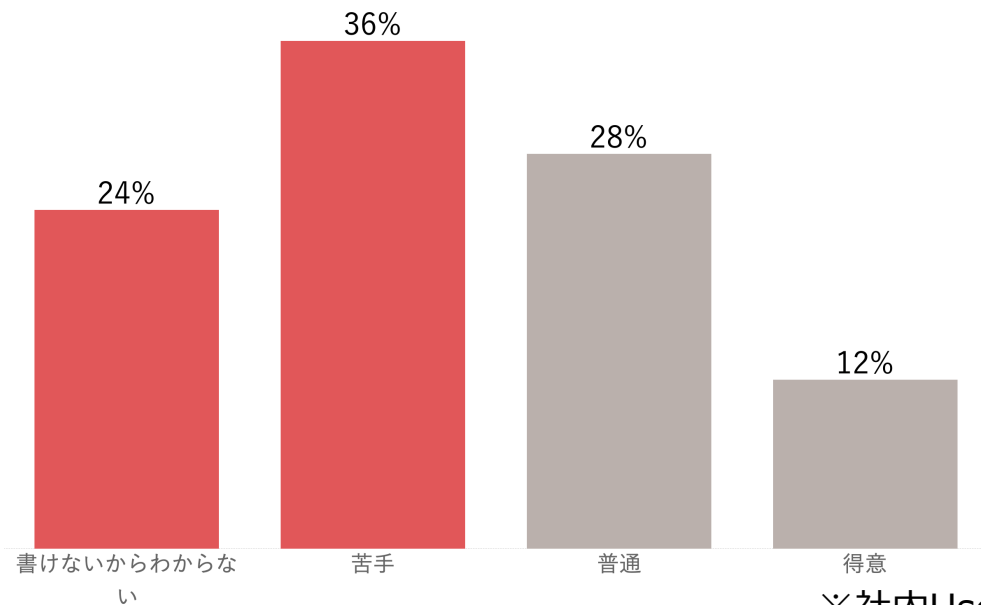
- Visual Analyticsの話(荒木)
- Bronze Demo(西澤)
- 意見交換会

# やってみてどうだったか？

- 想定内のこと
  - 事業部を超えたTableauユーザーのつながり
  - データを可視化したい、という欲求への底上げ
- 想定外だったこと
  - 社内User Meetup前後での質問に変化
  - アンケートによって見えてきたことがある(後述)

# SQLに苦手意識があるユーザーは3割超

ぶっちゃけ、SQL得意ですか？



※社内User Meetupアンケートより

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# (RedshiftからBigQueryに移行した影響もある)

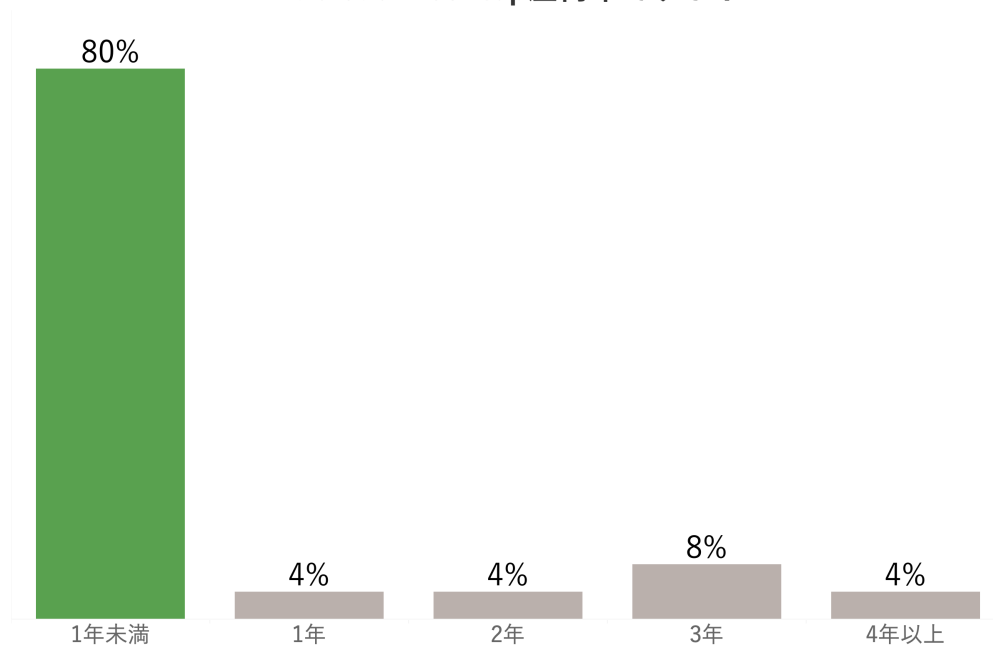


- SQLの方言に対応できていない
- 今まで使えていた関数が使用できない
- クエリ課金を意識したSQL

などなど

# Tableau歴1年未満のユーザーが大半

Tableau Desktop歴何年ですか？

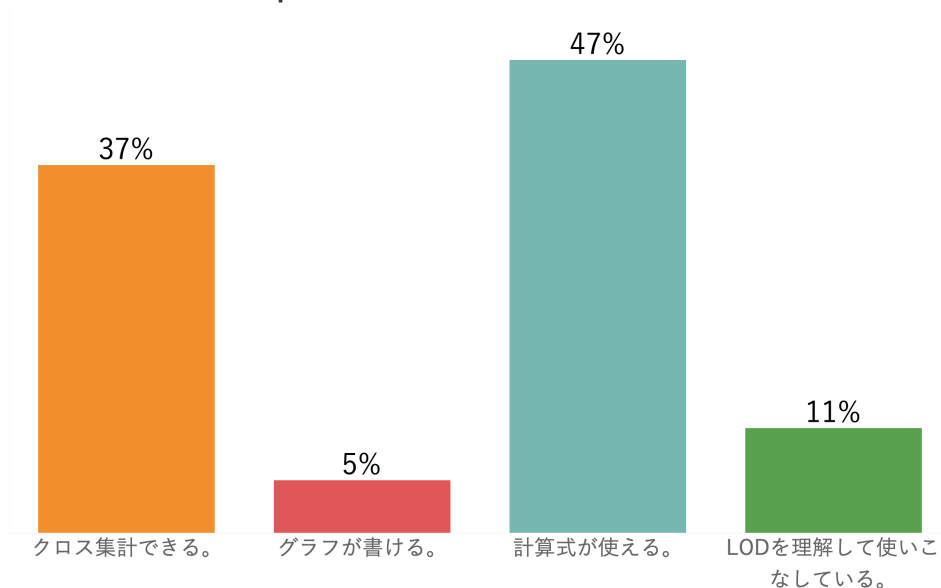


※社内User Meetupアンケートより

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

# スキルレベルのばらつきはある

Tableau Desktopは自己評価でどの程度のレベルになりますか？



※社内User Meetupアンケートより

Copyright (C) 2019 BizReach, Inc



# 今後の施策



# テーマ：技術力を磨く

Classroom(≠勉強会)

- SQL(Standard SQL)
- Tableau

# Standard SQL Classroom



**2019年6月 開講予定**

- Standard SQLの基本
- 本番データを基にしたユースケース

# Tableau Classroom



**2019年7月 開講予定**

- データビジュアライゼーション
- サンプルスーパーストア -> サービスデータ
- 実業務を基にしたユースケース

# まとめ

- Tableauユーザーアクティベーション
  - コミュニティ醸成
    - オンラインとオフラインを駆使することで、Tableauユーザーに対して価値提供できた。
    - 今後も継続予定。
  - 今後の施策
    - 技術力を底上げする施策を展開する予定。

# 実は…

## 【Tableau技術力】

基本から上級のテクニックを身につけ、実業務でスムーズに使用することができる。  
Tableauを使って「データが何を言っているかわかる」ようになる。

**=データからフォースを感じられるようになる**

## 【Data Driven Cultureを伝え、広める力】

データを理解することで業務を変革していくことができることを確信し、  
それを会社全体、そして社会に広める活動を行えるようになる。

**=フォースを人々に伝えるジェダイとなる**

※Tableau Jedi資料より抜粋  
Copyright (C) 2019 BizReach, Inc

DATA  
DAY OUT



**MAY THE FORCE BE  
WITH YOU**